

令和6年 上半期

火災・救急・救助の概況



JOETSU AREA FIRE DEPT.
上越地域消防局

目次

火災概況.....	1
1 火災発生状況	1
2 出火原因.....	2
3 火災による死傷者	3
4 損害額の推移	3
5 住宅用火災警報器	4
救急概況.....	5
1 救急出場状況	5
2 救急搬送人員	7
救助概況.....	8
1 救助出場状況	8
2 救助人員.....	9

火災概況

1 火災発生状況

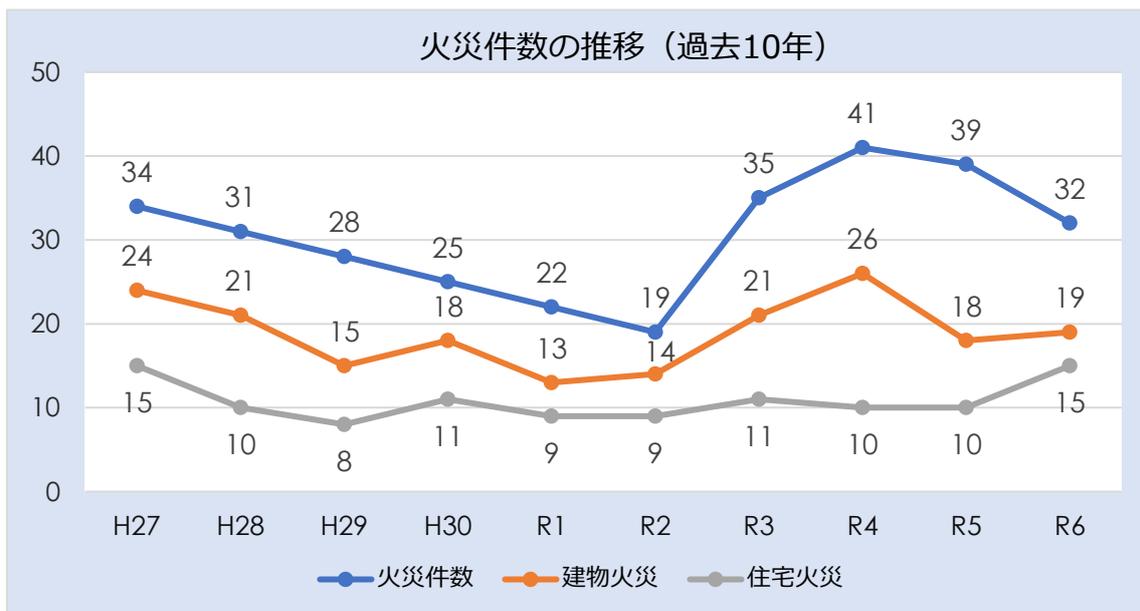
令和6年上半期の火災発生件数は32件で、過去10年間で最も多かった令和4年と比較し、9件減少しています。火災種別では、建物火災が19件と最も多く、そのうち住宅火災は15件で、平成27年以降の最多件数と同数になっています。

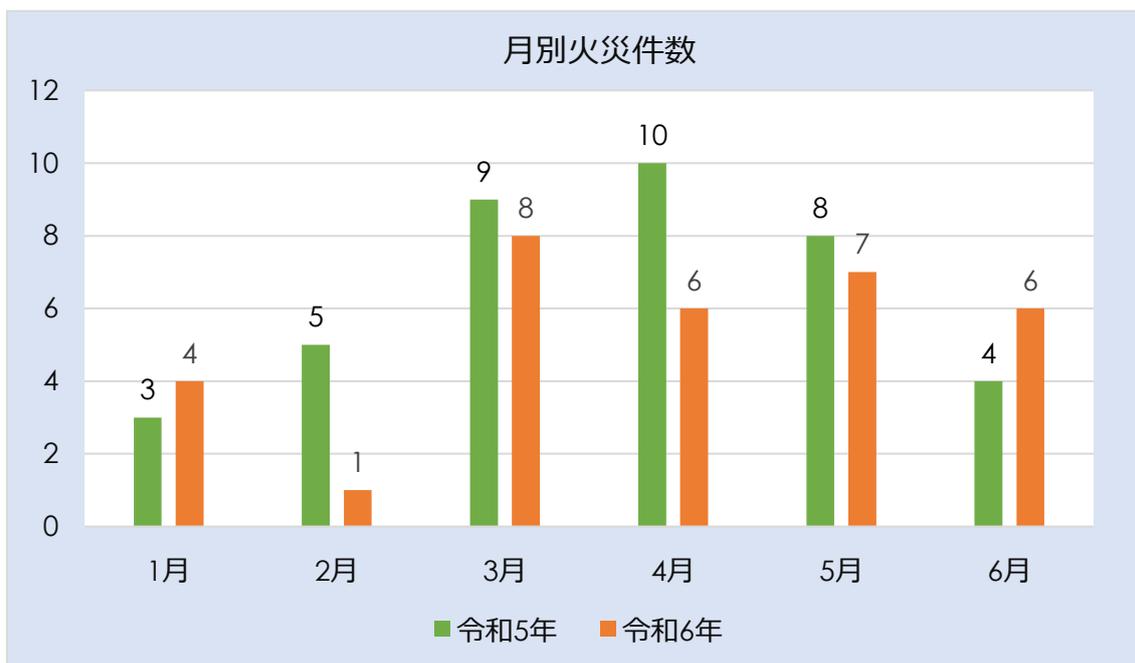
月別件数で見ると、3月が8件と最も多く、次いで5月が7件となっています。

上半期火災発生状況

	令和5年 (件)	構成比 (%)	令和6年 (件)	構成比 (%)	増減 (件)
火災件数	39	100.0	32	100.0	△7
建物火災	18	46.1	19	59.4	1
住宅火災	10	(25.6)	15	(46.9)	5
林野火災	1	2.6	1	3.1	
車両火災	4	10.3	1	3.1	△3
その他火災	16	41.0	11	34.4	△5

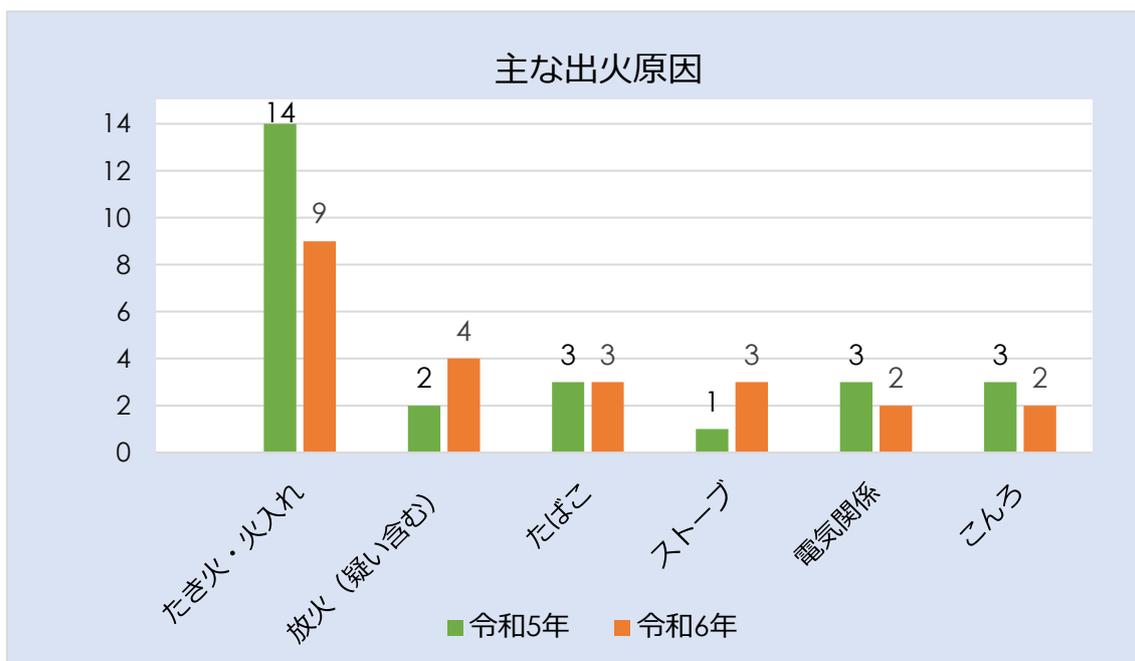
※ () は全火災件数に対する構成比





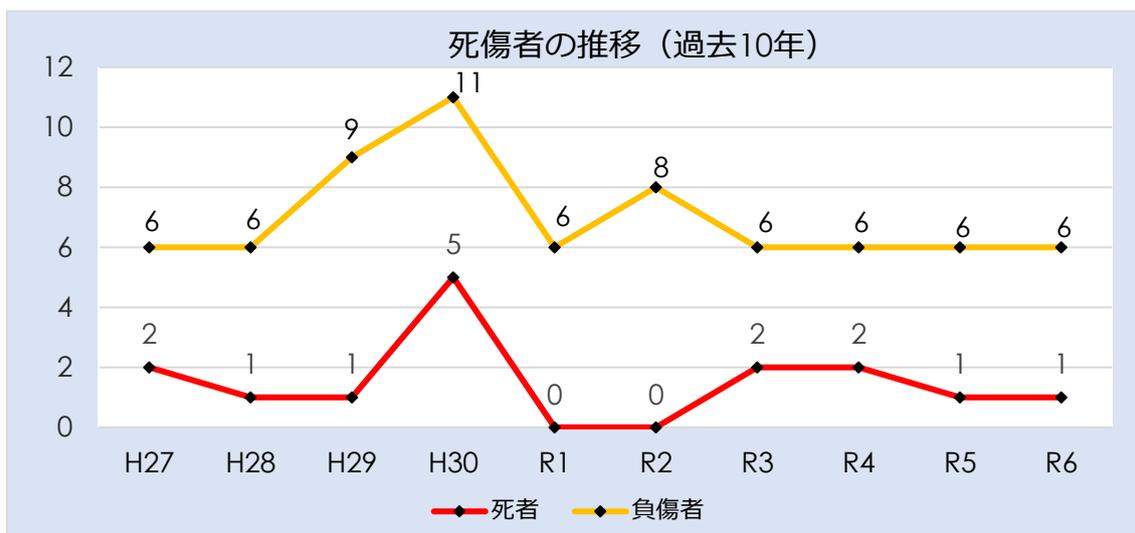
2 出火原因

令和6年上半期の主な出火原因を見ると、「たき火・火入れ」が最も多く、9件となっています。次いで「放火（疑いを含む）」が4件、「たばこ」「ストーブ」が各3件発生しています。



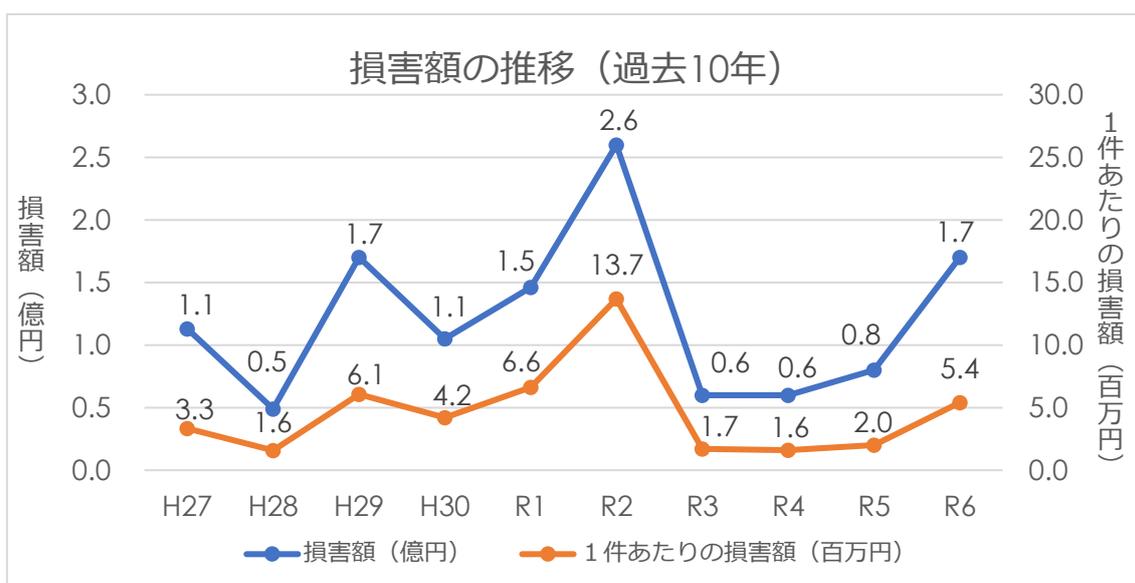
3 火災による死傷者

令和6年上半期の火災による死者は1人、負傷者は6人でした。死者は住宅火災で発生しています。



4 損害額の推移

令和6年上半期の損害額は約1.7億円、1件あたり約5.4百万円でいずれも昨年より増加しています。



5 住宅用火災警報器

令和6年6月1日時点における上越地域消防局管内の住宅用火災警報器の設置率は93.9%、条例適合率は64.2%です。また、作動確認を実施した世帯のうち、全体の7%に何らかの不具合が見つっています。

※設置率：火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のうち、1か所以上設置されている世帯の全調査世帯に占める割合

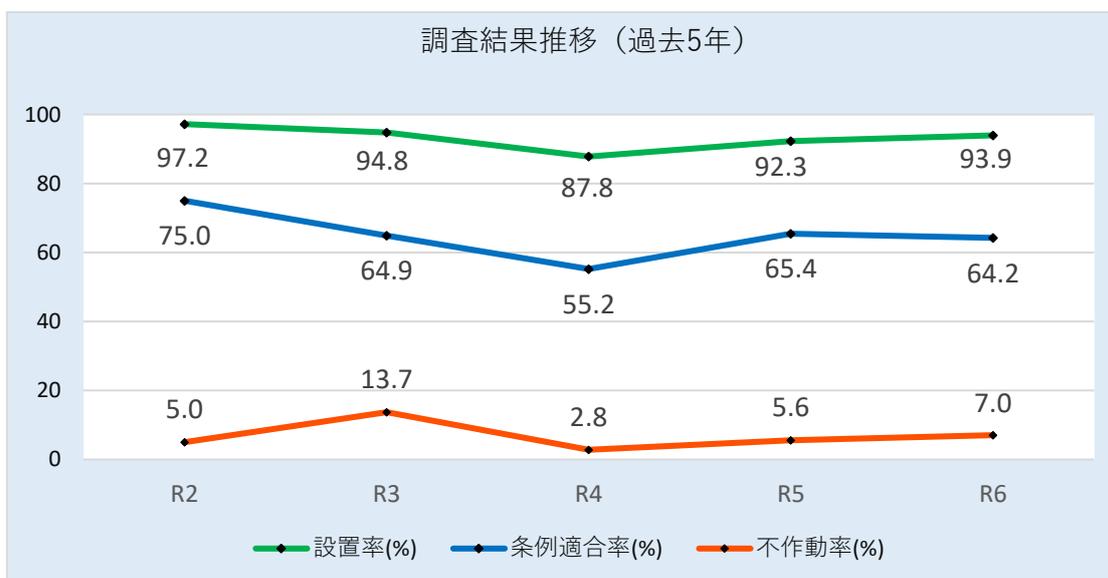
※条例適合率：火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のすべてに設置されている世帯の全調査世帯に占める割合

※不作動率：作動確認をした世帯のうち、点検時に電池切れや故障等の不具合があった世帯の割合

	令和5年 (%)	令和6年 (%)	増減 (%)
設置率	92.3	93.9	1.6
条例適合率	65.4	64.2	△1.2
不作動率	5.6	7.0	1.4

調査結果では、設置率は前年より上昇しましたが、条例適合率は前年数値を下回っています。

一方で、作動点検を実施した世帯の一部には、「電池切れ」や「故障」といった不作動が現れています。住宅用火災警報器の交換目安は10年と言われており、完全義務化された平成23年頃に取り付けた機器は、不具合がある可能性が高いことから定期的な作動点検を呼びかけています。



救急概況

1 救急出場状況

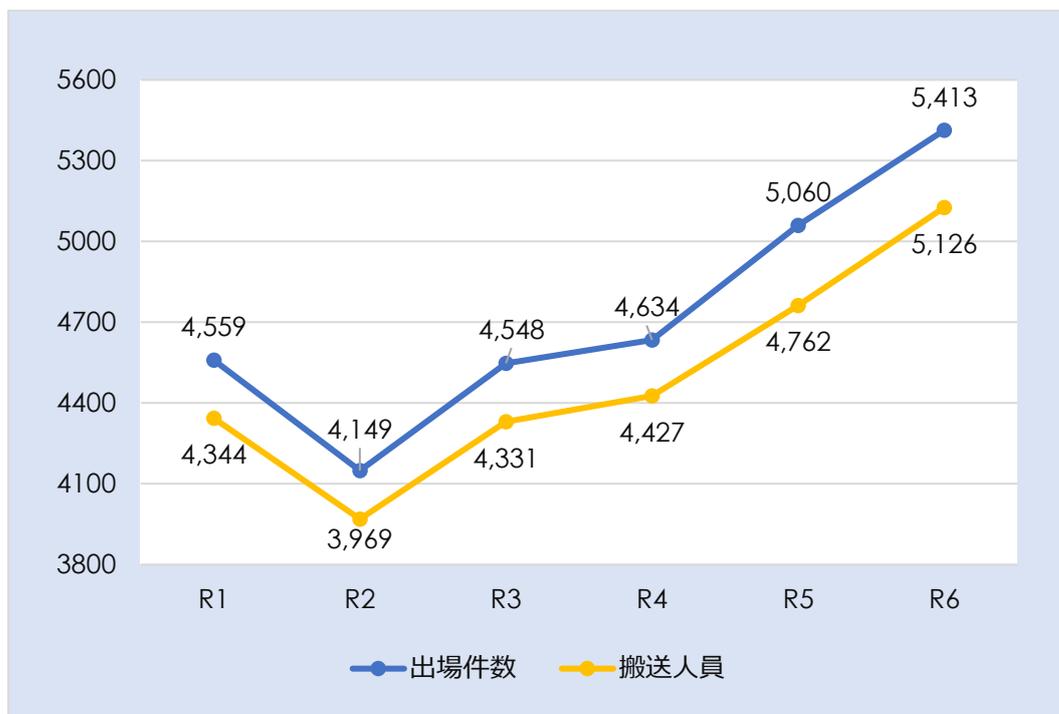
令和6年上半期の救急出場件数は5,413件で、1日平均約30件、約48分に1件の割合で救急車が出場したことになります。

前年と比べ、出場件数は353件、搬送人員は364人増加しています。

上半期救急出場件数

	令和5年	令和6年	増減
出場件数	5,060	5,413	353
搬送人員	4,762	5,126	364

上半期救急出場件数の推移



令和6年上半期 火災・救急・救助の概況

救急出場件数を事故種別で見ると、最も多いのが「急病」で3,410件、全体の63.0%を占めています。次に「一般負傷」の866件で16.0%、「転院搬送」が641件で11.8%、「交通事故」が251件で4.6%となっています。

上半期事故種別救急出場件数

事故種別	出場件数	構成比
急病	3,410	63.0%
一般負傷	866	16.0%
交通事故	251	4.6%
労働災害	59	1.1%
自損行為	56	1.0%
加害	7	0.1%
火災	29	0.5%
運動競技	35	0.6%
水難事故	5	0.1%
自然災害	9	0.2%
その他	45	0.8%
転院搬送	641	11.8%
合計	5,413	100.0%

上半期月別救急出場件数

	令和5年	令和6年	増減
1月	1,039	1,028	△ 11
2月	746	850	104
3月	822	887	65
4月	793	908	115
5月	874	882	8
6月	786	858	72

2 救急搬送人員

令和6年上半期の救急搬送人員は5,126人で、そのうち上越市が84.1%、妙高市が15.9%を占めています。

また、全搬送人員のうち高齢者が占める割合は、69.9%となっています。

上半期地域別救急搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者		計	構成比
						高齢者割合		
上越市	13	125	106	1,011	3,055	70.9%	4,310	84.1%
妙高市	0	21	28	239	528	64.7%	816	15.9%
他市町村	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
合計	13	146	134	1,250	3,583	69.9%	5,126	100%

- ※ 新生児：生後28日未満
- ※ 乳幼児：生後28日以上～7歳未満
- ※ 少年：7歳以上～18歳未満
- ※ 成人：18歳以上～65歳未満
- ※ 高齢者：65歳以上

全搬送人員に占める軽症者の割合は令和元年以降、概ね45%前後で推移しています。

上半期傷病程度別救急搬送人員

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
軽症	1,904	1,753	1,822	1,915	2,209	2,398
中等症	1,791	1,668	1,930	1,908	1,975	2,116
重症	519	429	468	470	469	476
死亡	129	119	111	134	109	136
合計	4,343	3,969	4,331	4,427	4,762	5,126

- ※ 軽症：入院を要しないもの
- ※ 中等症：21日未満の入院を要するもの
- ※ 重症：21日以上入院を要するもの
- ※ 死亡：初診時死亡が確認されたもの

救助概況

1 救助出場状況

令和6年上半期の救助出場件数は42件で、昨年より5件増加しています。また、出場件数のうち、活動件数は26件で、昨年より8件増加しています。

上半期救助出場・活動状況

事故種別	出場件数			活動件数		
	令和5年	令和6年	増減	令和5年	令和6年	増減
合計	37	42	5	18	26	8
火災	1	1		1	1	
交通事故	15	18	3	4	9	5
水難事故	4	5	1	1	1	
自然災害		1	1		1	1
機械事故	2	2		1	1	
建物等事故	8	8		6	7	1
ガス酸欠事故						
爆発事故						
その他事故	7	7		5	6	1

※その他事故：山岳事故、転落事故など

令和6年上半期 火災・救急・救助の概況

上半期地域別救助出場件数

	救 助 事 故 種 別 (件)									出場件数		増減
	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他事故	令和6年	令和5年	
上越市	1	16	4		2	6			5	34	28	6
妙高市		2	1	1		2			2	8	9	△1
他市町村												
合計	令和6年	1	18	5	1	2	8		7	42	37	5
	令和5年	1	15	4		2	8		7	37		
増減		3	1	1						5		

2 救助人員

令和6年上半期の救助人員は26人で、昨年より11人増加しています。

上半期地域別救助人員

	救 助 事 故 種 別 (人)									合計		増減
	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他事故	令和6年	令和5年	
上越市		10			1	7			4	22	12	10
妙高市				1		1			2	4	3	1
他市町村												
合計	令和6年		10		1	1	8		6	26	15	11
	令和5年		4	1		1	3		6	15		
増減		6	△1	1		5				11		